

CASBEE[®]広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宗教法人日本基督教団広島流川教	階数	地上4F
建設地	広島県広島市中区上幟町8-3, 8-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	学校、集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年2月 予定	評価の実施日	2012年7月21日
敷地面積	1,332 m ²	作成者	梅垣 浩之
建築面積	757 m ²	確認日	
延床面積	2,209 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.4 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.8

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 3.6	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 窓面積比率を小さくし、外壁断熱材を多用することで空調の負荷を低減。//空調に空冷ヒートポンプパッケージを採用。主としてLED照明を採用した。//運用管理の組織化を図っている。//リサイクル材を積極的に使用した他、節水型器具を採用している。//設備機器の効率化、建物の高断熱性能、環境負荷の低い資材の活用等の総合的な取り組みでCO ₂ 削減を目指した。	設計の計画上特段に配慮した事項 外構の緑化と園庭の透水性舗装や庇の設置、高木の植栽等により、環境の向上に努めた。//敷地東側に、建物利用者以外も利用可能な駐車場を設置することにより、地域の駐車スペース増加と建物周辺の渋滞緩和に寄与する。	設計の計画上特段に配慮した事項 設備機器及び配管は耐用年数の高い材料を使用。特に配管は40年以上のものを採用した。//将来の設備機材、配管の更新は構造部材を痛めることなく更新、修繕が可能。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される